

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（山口県立大学）

国際文化学部 国際文化学科

2021年度以前入学生用カリキュラム：合計35単位（全学教育23単位）（学部共通2単位）

省令で定める単位数等の基準数相当分（以下14単位分）

科目名	単位数	授業内容
キャンパスライフ入門 【ライフデザイン】	2	学習面・生活面に係る課題に対するグループワーク等を通じて、自律した生活者としてのスキルを身に付けるための授業を展開する。 ・DV被害者支援団体から講師を招聘し、DV被害等に合わないためにどのような点に注意すべきかについて学習する。 ・山口県弁護士会等に勤務する講師を招聘し、消費者トラブルについて学ぶ。 ・山口保護観察所に勤務する講師を招聘し、薬物乱用のリスクについて学ぶ。
宗教学	2	住職経験のある教員が、宗教学の知見を踏まえ、宗教に関する基本的な知識を講義し、各自が属する社会の宗教文化や異文化の宗教の理解を促す授業を行う。
生命と倫理	2	・助産師経験のある教員が、出生前診断・生殖補助医療現場について講義を行う。 ・小児科・NICUでの看護師経験のある教員が、子どもと生命に関する倫理について講義を行う。 ・消化器外科の経験のある教員が、消化器疾患、特にがんに関する講義を行う。 ・外科医経験のある教員が、最新医療技術について講義を行う。
音楽	1	TV番組や映画などで劇伴音楽を手がける作曲家で、自治体の芸術顧問を務めた経験のある講師が、創作を中心とする授業を行う。
美術	1	グラフィックデザイナーとして印刷会社に勤務経験のある教員が、作品制作の指導を行う。
茶道 【日本の芸術と文化Ⅰ】	1	表千家同門会の学校茶道指導者である講師が、茶道の基本的な作法を修得することを目標とする授業を行う。
華道 【日本の芸術と文化Ⅱ】	1	華道専正池坊及びロイヤルフラワーアレンジメントの資格を持つ講師が、生花、自然花、自由花の実技とともにニーズにあったフラワーアレンジメントも取り入れる等華道の様々な技法の修得を目標とする授業を行う。
陶芸 【山口の芸術と文化】	1	日本伝統工芸展に複数回入選歴のある萩焼作家である教員が、作陶の指導を行う。
やまぐちの歴史と文化	2	・市文化財保護課に勤務する講師を招聘し、地域の歴史と考古学について講義する。 ・県立美術館に勤務する講師を招聘し、山口で活動した芸術家である雪舟と雲谷派について、美術史的価値の観点から講義する。 ・中原中也記念館館長を招聘し、山口市出身の詩人である中原中也の活動について講義する。
地域共生演習	2	学外で地域の人々とともに地域課題の解決に向け、様々な地域活動を行うことにより、地域で働く意味や将来の職業選択に生かせる実践的な授業を行う。
地域学	2	交通不便地域におけるコミュニティタクシー乗車と乗客に対する聞き取り調査から、地域課題の解決や地域活性化に向けて主体的に取り組もうとする意欲を育てる授業を行う。
ボランティア	2	ボランティア活動を通し、ボランティア体験で得た学びをもとに地域社会に貢献する意欲と態度を身につける授業を行う。
キャリアデザイン	2	卒業後の社会的・職業的自立に向けてキャリアデザインの重要性を理解し、自分の職業・生きがいといった将来設計について考える授業を行う。
インターンシップ	2	主に県内の事業所においてインターンシップを行い、地域で働く意味を知るとともに、自分の専攻分野や将来の職業選択に生かせる実践的な就業体験を行う。
異文化交流論	2	旅行者やグローバル展開する企業等の海外赴任経験者を講師として招聘し、海外赴任時の経験を基に異文化適応に必要なスキル等について考える授業を行う。
Introduction to Buddhism	2	住職経験のある教員が、仏教学の知見を踏まえ、仏教に関する基本的な知識を講義し、各自が属する社会の宗教文化や異文化の宗教の理解を促す授業を行う。
国際経済論	2	国際開発の実務経験を持つ教員が、自らの経験も踏まえ講義を行う。
NGO・NPO論	2	地域で活躍するNPO実務家をゲストスピーカーとして招き、学生とのディスカッションを通して地域における大学とNPOの役割について考える授業を行う。
地域実習Ⅰ	2	政府やNGO・NPO、民間組織などの国内外の様々な団体が、それぞれに行う活動を通じてフィールドワークの実習指導を行う。
地域実習Ⅱ	2	政府やNGO・NPO、民間組織などの国内外の様々な団体が、それぞれに行う活動を通じてフィールドワークの実習指導を行う。

【 】外の科目名は2021年度以前入学生用カリキュラム上の科目名、【 】内の科目名は今年度の開講科目名

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（山口県立大学）

国際文化学部 国際文化学科

2022年度以降入学生用カリキュラム：合計23単位（基盤教育11単位）（学部共通4単位）

省令で定める単位数等の基準数相当分（以下14単位分）

科目名	単位数	授業内容
ライフデザイン	2	学習面・生活面に係る課題に対するグループワーク等を通じて、自律した生活者としてのスキルを身に付けるための授業を展開する。 ・DV被害者支援団体から講師を招聘し、DV被害等に合わないためにどのような点に注意すべきかについて学習する。 ・山口県弁護士会等に勤務する講師を招聘し、消費者トラブルについて学ぶ。 ・山口保護観察所に勤務する講師を招聘し、薬物乱用のリスクについて学ぶ。
生命と倫理	2	・助産師経験のある教員が、出生前診断・生殖補助医療現場について講義を行う。 ・小児科・NICUでの看護師経験のある教員が、子どもと生命に関する倫理について講義を行う。 ・消化器外科の経験のある教員が、消化器疾患、特にがんに関する講義を行う。 ・外科医経験のある教員が、最新医療技術について講義を行う。
日本の芸術と文化 I	1	表千家同門会の学校茶道指導者である講師が、茶道の基本的な作法を修得することを目標とする授業を行う。
日本の芸術と文化 II	1	華道専正池坊及びロイヤルフラワーアレンジメントの資格を持つ講師が、生花、自然花、自由花の実技とともにニーズにあったフラワーアレンジメントも取り入れる等華道の様々な技法の修得を目標とする授業を行う。
山口の芸術と文化	1	日本伝統工芸展に複数回入選歴のある萩焼作家である教員が、作陶の指導を行う。
インターンシップ	2	主に県内の事業所においてインターンシップを行い、地域で働く意味を知るとともに、自分の専攻分野や将来の職業選択に生かせる実践的な就業体験を行う。
データサイエンス概論	2	民間企業に勤務経験のある教員が、分析事例の説明として簡単な実例を用いる等、実務のノウハウ等を組み込んで授業を行う。
異文化交流論	2	旅行業者やグローバル展開する企業等の海外赴任経験者を講師として招聘し、海外赴任時の経験を基に異文化適応に必要なスキル等について考える授業を行う。
宗教学	2	住職経験のある教員が、宗教学の知見を踏まえ、宗教に関する基本的な知識を講義し、各自が属する社会の宗教文化や異文化の宗教の理解を促す授業を行う。
Introduction to Buddhism	2	住職経験のある教員が、仏教学の知見を踏まえ、仏教に関する基本的な知識を講義し、各自が属する社会の宗教文化や異文化の宗教の理解を促す授業を行う。
国際経済論	2	国際開発の実務経験を持つ教員が、自らの経験も踏まえ講義を行う。
NGO・NPO論	2	地域で活躍するNPO実務家をゲストスピーカーとして招き、学生とのディスカッションを通して地域における大学とNPOの役割について考える授業を行う。
データサイエンス活用法	2	民間企業に勤務経験のある教員が、分析事例の説明として簡単な実例を用いる等、実務のノウハウ等を組み込んで授業を行う。